

保護者の皆様

可部 つちくれの家
平成 28 年 9 月 5 日
施設長 米田香代子

施 設 だ よ り 9 月

台風12号の到来に、明日か明日かと、つちくれの周りの風対策を急いで行い、週末を迎えたものの、時速10キロという自転車並みの速度を保ちノロノロと北上している12号は、今日中に広島に最接近するのでしょうか？
今までに発生した台風は、例年とは進路が大きく違い、「北海道には台風はやってこない」と言われていた定説を覆し、何とすでに四つもの台風が北海道に大きな被害を与えています。

また、6月末から始まった「夏日・真夏日」。8月には最高気温が37度にも達し、私たちの体温よりも高い気温に見舞われました。そして北極の永久凍土が既に無くなりつつあるそうです。このような異常な気象現象から地球の変化・温暖化を懸念せざるを得ないと感じるのは私だけではないでしょう。

さて、つちくれの多くの仲間は、今年の猛暑にも体調を崩すことなく、労働に携わることができました。これは、とても嬉しいことでした。

そんな仲間の主体的な活動の一つに『自治会』活動があります。施設便り6月で自治会メンバーとその今年度の意気込みについて報告しましたが、7月の「七夕まつり・笹やき」やお盆休み前の「カラオケ大会」は、役員を中心に仲間が仲間の為に司会進行を行いました。カラオケ大会では『全員参加』を目標に行い、会場に降りれなかった晃さんには、集まっている仲間皆で呼びかけを行ったそうです。また、いきいきは全員で。他のクラスは「一人一曲は歌おう」と決め、一人で歌えない人は観客の皆と一緒に唄うなどの協力体制を作って『全員参加』を達成しました。2日の会議の場で、彼らは前期の行事の反省会と『つちくれ祭り』についての話し合いもきちんと行われました。

自治会会長の宏輝さんが代表で報告にやってきました。

11月13日の『つちくれ祭り』は、「事前の計画から当日の司会進行まで、自治会が中心になって仲間達でやっていきますからお願いします」ということでした。そして今月中には仲間に『祭り』の取り組みへの提案を行うそうです。『自分たちのための自分たちによる祭り』をめざして。今までにない新しい仲間による取り組みです。

仲間一人ひとりが自ら主人公になれる祭り作りに期待したいと思っています。